

平成 22 年度 シラバス	学年・期間・区分	2年次・前期・必修
	対象学科・専攻	機械・電子システム、電気情報システム、土木工学専攻
環境人間工学 (Environmental Human Engineering)	担当教員	山田 真義 (Yamada, Masayoshi)
	教員室	土木工学科棟2階 (Tel. 42-9123)
	E-Mail	m-yamada@kagoshima-ct.ac.jp
教育形態 / 単位数	講義 / 2単位	
週あたりの学習時間と回数	〔授業 (100分) + 自学自習 (200分)〕 × 15回	
〔本科目の目標〕 人間の諸活動を地域的に空間的に独立させて行なうことができなくなった地球環境の時代においては、高精度の物理学現象を複雑な生物学的現象に重ねなければならない。このため、本科目では、環境人間工学の基本的考え方についての概略を学ぶ。		
〔本科目の位置付け〕 本科で学習する環境工学および専攻科1年次の環境科学を踏まえ、本科目では人間環境学の基礎、環境汚染の発生と対策、近年の環境問題と人間生活を中心に学習する。		
〔学習上の留意点〕 講義内容を理解するために毎回教科書などを参考に2時間程度の予習を行い、授業に挑むこと。また、授業終了後には2時間程度の復習を行い、講義内容を習得すること。疑問点があれば、その都度質問すること。		
〔授業の内容〕		
授 業 項 目	時限数	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標
1. 人間環境学の基礎	10	環境の定義を理解する 公害対策基本法から環境基本法への展開を理解する 衣環境を理解する 住環境を理解する 食環境を理解する 人口と環境を理解する
2. 環境汚染の発生と対策	8	大気汚染と酸性雨を理解する 水環境の保全を理解する 土壌環境の現状と対策を理解する 騒音・振動・悪臭を理解する
3. 近年の環境問題と人間生活	10	地球の温暖化を理解する フロンとオゾン層の破壊を理解する 森林の減少と砂漠化を理解する 有害物汚染を理解する ダイオキシンを理解する 遺伝子組換え食品を理解する 廃棄物とリサイクル対策を理解する
---定期試験---	2	授業項目1～3に対して達成度を確認する
試験答案の返却・解説		試験において間違った部分を理解できる
〔教科書〕 環境と公害 日本評論社		
〔参考書・補助教材〕 健康と環境の工学 北海道大学衛生工学科編 技報道出版 衛生工学入門 朝倉書店、衛生工学演習 森北出版、環境・循環型社会白書 環境省編		
〔成績評価の基準〕定期試験 (80%) + レポート (20%) - 授業態度 (上限10%)		
〔専攻科課程の学習教育目標との関連〕1-3		
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕1-3		
〔JABEEとの関連〕(b), (d)(2)a)		